

令和7年4月11日

県立歴史館 企画展「常陸平氏－将門・清盛につながる一族－」

当館では、企画展「常陸平氏－将門・清盛につながる一族－」及び関連イベントを下記のとおり開催いたします。ぜひ御取材ください。

記

- 会 期** 令和7年4月26日（土）～6月22日（日）
開館時間 9：30～17：00（入館は16：30まで）
- 場 所** 県立歴史館（水戸市緑町2-1-15）
- 展示の概要** 平将門や清盛を輩出した桓武平氏のうち、常陸に拠点を置いたのが常陸平氏です。彼らは常陸国内に広がり、今日の県内各地域の原形をつくりました。本企画展では、中世における常陸平氏各一族の実態を明らかにするとともに、彼らを通して常陸の中世を捉えていきます。
- 関連イベント** **講演会 「伊勢に行く者、常陸に残る者－桓武平氏の選択－」**
日時：5月24日（土） 14：00～15：30
講師：飛田英世（展示担当）
会場：県立歴史館 講堂



ろっかくほうどうがたきょうづつ 六角宝幢形経筒（部分） 銘「常 州 府 中 平 慶 幹」
めい じょうしゅうふちゅう たいらのよしもと

（水戸市指定文化財）水戸市・六地藏寺蔵

【本資料についてのお問い合わせ先】

県立歴史館 管理部教育普及課 根本、長洲

TEL 029-225-4425 E-mail: daihyou@rekishikan.museum.ibk.ed.jp

常陸を治める。
佐竹氏・小田氏よりも
早く、広く……

常陸平氏

— 将門・清盛につながる一族 —

ひたちへいし



1



2

3

4

5

7

5



6

7



4

3



令和7年4月26日(土) — 6月22日(日)

休館日▶月曜日(祝日の場合はその翌日) 開館時間▶9:30~17:00(入館は16:30まで) 入館料▶一般390円(330円)/満70歳以上200円(170円)※()内は20名以上の団体料金 入館無料▶高校生以下/身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、指定難病特定医療費受給者証をお持ちの方と付き添いの方1名/5月15日(日)高齢者(満70才以上)無料/5月31日(日)・6月1日(日)「歴史館まつり」入館無料 ※会期中、予告なく変更する場合があります。

①木造阿弥陀如来立像 水戸市・吉沼観音堂 水戸市指定文化財(部分)/②木造如意輪観世音菩薩坐像 鉾田市・華徳院 茨城県指定文化財(部分)
③紙本着色鳥崎長国像(部分) 潮来市・長国寺/④三十三応現身(帝釈天)板絵 牛久市・観音寺(部分)
⑤六角宝幢形経筒(部分)銘文「常州府中 平慶軒」 水戸市・六地藏寺 水戸市指定文化財
⑥紙本着色伝真壁道無像 桜川市 茨城県指定文化財(部分)/⑦錦絵 東海道五十三次之内 藤沢 小栗判官(部分) 当館

同時期開催

くらしの中にあった戦争

一橋徳川家 徳川治済
2世当主

令和7年4月22日(日)~6月15日(日)

常陽銀行

SEKI/SHO 関彰商事

IBARAKI PREFECTURAL ARCHIVES AND HISTORY MUSEUM

茨城県立歴史館

〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 Tel.029-225-4425 <https://rekishikan-ibk.jp/>

延暦13年(794)に平安京を開いた桓武天皇には多くの皇子がいました。次の天皇になれるのはそのうちの一系統のみ。他の系統は皇族から離れて平氏を名乗り地方に活路を見出しました。

桓武平氏のうち、常陸に拠点を置いたのが常陸平氏です。本企画展では、佐竹氏・小田氏よりも早く、広く常陸を治めた常陸平氏の歴史を通観します。

そして、常陸国内各地に分立するなかで、それぞれの地域をつくっていった過程をみながら、彼らを通して常陸の中世を捉えていきます。

常陸平氏

将門・清盛につながる一族

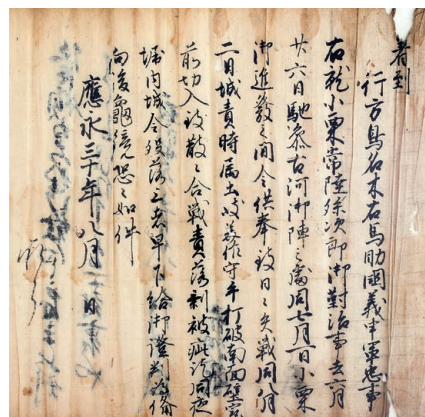
茨城県
初公開



高台付杯土師器(墨書銘「青毛」) 土浦市・入ノ上遺跡出土 土浦市



六角宝幢形経筒 水戸市・六地藏寺 水戸市指定文化財



鳥名木園義者到状 個人(当館寄託) 茨城県指定文化財

佐竹義重所用 鉄茶羅紗包腰取丸胴具足 個人 撮影:Jo Anseeuw

関連イベント

伊勢に行く者、常陸に残る者 —桓武平氏の選択—

令和7年5月24日 14:00~15:30 当館講堂
講師▶当館 飛田英世(展示担当)
定員▶150名(当日11時から整理券配布、要入館券)

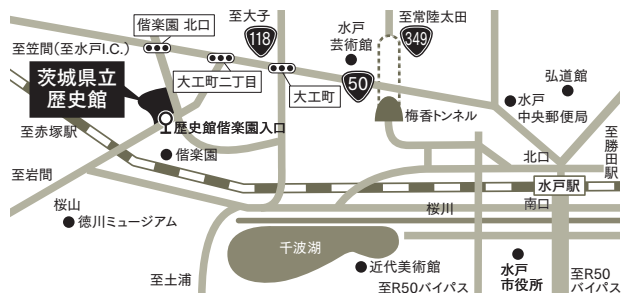
事前申込方法

ホームページ申込フォーム

または

往復はがき(イベント名、住所、氏名、電話番号)

※日曜歴史館は来館での申込も可能
※各詳細は当館ホームページをご確認ください



交通のご案内

◎茨城交通バス(水戸駅北口4番のりば)「桜川西団地」行きなど
偕楽園方面行き乗車約10分、「歴史館偕楽園入口」下車、徒歩2分。
◎常磐自動車道水戸インターから約7km、車で15分。

同時期開催

昔の暮らし「くらしの中にあった戦争」

太平洋戦争終結から80年。現代の子どもたちにとって戦争は、はるか昔の遠い出来事になりつつあります。身近なくらしの道具をてがかりに、戦争とともにあった日常とそれがもたらしたもののについて考えます。

関連イベント

戦争体験をさく座談会

6月7日 13:30~15:30(小3~高3対象・事前申込)

一橋徳川家2世当主 徳川治済

治済は8代将軍吉宗の孫であり、11代将軍家斉の実父です。治済が生きた時代は田沼意次が幕政を指揮し、松平定信が寛政の改革を行い、江戸時代後期の文化が花開いた時でした。治済の誕生の記録から霊廟の扁額まで、一橋徳川家に伝来した貴重な資料を展示します。



慰問袋(部分) (当館蔵)



徳川治済最御院治済肖像 (当館蔵)

古文書相談会

6月1日 13:00~15:00(1組30分程度)[申込方法▶電話・歴史館代表メール]

日曜歴史館 ある戦国武将の従軍記録—『上井覚兼日記』の世界—

6月8日 14:00~15:30 [事前申込制]
講師▶東京大学大学院総合文化研究科教授 桜井英治氏

歴史館まつり

5月31日 6月1日

いにしへのピアノ160周年記念 春の歴史館コンサート

5月4日 14:00~14:30 定員▶35名 [申込締切▶4月15日]

春のいちよう並木ストリートピアノ

5月4日 参加自由、演奏時間1人5分程度

いにしへのピアノ演奏体験

6月15日 11:00~16:00 定員▶20名
演奏時間1人5分程度 [申込締切▶5月16日]

HPは
コチラから

